



市制施行70周年記念

鹿島市 市勢要覧

2024 Kashima City



肥前鹿島干潟清掃活動



環境教育プログラム (水生生物調査)

## 環境と調和した 持続可能なまち、鹿島

SDGs × 鹿島

人と自然が共生できる地球に優しい自然豊かなまちづくりを目指して、環境と産業の調和を図ります。



### ゼロカーボンシティ

令和4年9月、本市は2050年にCO<sub>2</sub>を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。豊かな環境資源を活用し、自然との調和、循環型社会の構築の上に成り立つ、鹿島らしい脱炭素社会の実現に取り組んでいます。(写真:トウトウエコツアー)



### 3年後の鹿島を守る酒「ごえん」

「ごえん」は、棚田を土砂災害の緩衝地帯とする「グリーンインフラ」の取組の一環として作られました。棚田米の付加価値を高め、経済活性化にも貢献しています。国土交通省のグリーンインフラ大賞を受賞しました。

# みんなが住みやすく、暮らしやすい

## 豊かな心を育む 教育・文化のまち、鹿島

学び × 鹿島

ふるさと「鹿島」を愛し、心豊かでたくましい子ども達を育むとともに、市民一人ひとりが生涯にわたって学習できる「まちづくり」を目指します。



浮立面づくり



### ふるさと学習

鹿島の歴史・自然・産業(ものづくり)・偉人についての学習を通して、地域の方々とのつながりを深め、ふるさとの伝統・文化に対する愛着と誇りを育成し、子どもたち一人ひとりを伸ばす教育を推進します。



### 芸術・文化

令和5年開館の「鹿島市民文化ホール」(愛称:SAKURAS)は、優れた音響効果と、広い舞台・楽屋空間を備えた「まちの晴れ舞台」。館内には「ふるさと資料館」も併設しており、幅広い芸術・文化活動を推進します。



SAKURAS/SAGA2024団結集会

## みんなが安心して暮らせるまち、鹿島

鹿島に住むすべての人達が、住み慣れた地域のなかで、いつまでも生きがいを持ち、安心して暮らすことができるまちづくりの取組みを推進しています。



ひろばのつどい



### 地域福祉

福祉、介護、保健、地域が連携し、元気でいきいきとした生活や生きがいのある健康長寿を推進するとともに、住み慣れた地域で多面的な支援のもと、ともに支えあい安心して暮らせるまちづくりを推進しています。



### 子育て支援

妊娠前・妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目のない支援体制を整え、子育てに対する悩みや子どもの成長に寄り添っています。ファミリーサポートセンターなど地域全体で子育てを支える環境整備に努めています。



生きがいデイサービス

## まちを目指して

### 鹿島市のまちづくり

Urban development  
in Kashima City

## 地域力を活かした産業・事業のまち、鹿島

鹿島の誇れる産業の魅力を更に高め、地域資源の強みを活かした新たな産業の創出と次代を担う世代が安心して働けるまちづくりに取り組んでいます。



### みち海道しるべ

オレンジ海道沿いの産業活性化施設海道しるべでは、さまざまな加工機器を使って、6次産業化や農商工連携に向けた研究や試作等を行っています。これまでに130を超える新商品が誕生しました。



### 園芸団地整備

農業の担い手の減少や高齢化が進む中、意欲ある就農希望者が安心して就農できるよう、また今後の地域農業を維持、活性化させる担い手が農地の集積、省力化を図ることができるよう、園芸団地整備に取り組んでいます。



かしま仕事めぐりツアー



鹿島酒蔵ツーリズム®

# ごあいさつ



鹿島市は令和6年4月1日に市制施行70周年の節目を迎えました。今日まで本市の発展にご尽力いただきました多くの先人の皆さま、そして市民の皆さまのお力添えに心から感謝を申し上げます。

本市は、森里川海干潟が一体となった自然豊かなまちです。この素晴らしい環境に育まれた風土と伝統・歴史・文化を大切にしつつ、子どもたちが夢と希望を抱き、安心して育つことができるまちづくりを進めてまいりました。

このたび、70周年という節目を迎え、これからの新しい鹿島をこれまでの歩みとともに切り開いていく所存です。鹿島のまちの魅力をさらに高めるため、資源を磨き上げ、鹿島ならではの良さを発信し、近隣市町との連携を強化しながら、持続可能なまちづくりを目指していきます。

これからも市民の皆さまとまちづくりの思いを共有しながら、笑顔あふれるまち鹿島となるよう、未来へと進んでまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

鹿島市長 松尾 勝利

## History of Kashima

1954 - 2024

## 市制施行70年のあゆみ

1954	昭和29年	04.01	市制施行(5町村が合併し鹿島市発足)
		10.01	市制施行記念式典挙行
1955	昭和30年	03.01	七浦村(伊福を除く)を市に編入合併(6地区83部落となる)
		03.04	能古見小学校早ノ瀬分校を廃止し中川内分校を開校
		04.01	県立鹿島高等学校を鹿島高校と鹿島実業高校に分離
		10.23	祐徳児童遊園が開園
1956	昭和31年	04.01	各地区の支所を廃止し七浦に出張所設置
1957	昭和32年	03.15	佐賀産業観光大博覧会開会 第1会場 中川河畔／第2会場 祐徳稲荷神社外苑
1958	昭和33年	01.23	赤門、大手門、県重要文化財に指定
		04.01	七浦小学校奥山分校を古枝小学校に移管
1959	昭和34年	07.01	市有線放送電話事業を開設
1960	昭和35年	03.24	音成面浮立、県重要無形民俗文化財に指定
		04.01	浜、古枝、七浦の3中学廃止(統合)、鹿島市立東部中設置
		08.20	鹿島高校夏の全国高校野球大会で準決勝進出
1961	昭和36年	04.21	天皇皇后両陛下、佐賀・長崎県御視察のため乙丸を通過
1962	昭和37年	07.08	集中豪雨により死者4名、不明1名、被害総額27億円 (中川橋梁架の配水本管流失、浜水源地水没、 その他多大の被害を被る)7.8水害



1954年 市制施行記念祝賀



1957年 佐賀産業観光大博覧会



1962年 7.8水害

1963	昭和38年	08.15~16	第1回鹿島おどり開催
1964	昭和39年	06.12 10.01	中川橋開通 鹿島市消防署設置
1965	昭和40年	01.20 07.25	中牟田下水路完成 乙丸水源地より北鹿島地区へ通水開始
1966	昭和41年	05.27 11.16	鹿島市民会館完成 国営浜潮止め工事完成(浜干拓完成)
1967	昭和42年	03.30	国営多良岳パイロット横断道路竣工
1968	昭和43年	02.14 05.05 11.11 11.27	豪雪被害(積雪1m、被害16億円) 市立給食センターの給食開始 七浦干拓潮止め工事完成 共同衛生処理場「藤鹿苑」完成
1969	昭和44年	11.10	皇太子殿下佐賀県御視察のため鹿島に行啓
1970	昭和45年	03.01	乙丸ポンプ場完成
1971	昭和46年	07.01 09.01	浜北舟津の夜回り、100年間も守りぬき総理大臣賞受賞 福祉会館完成
1972	昭和47年	04.01 07.28 10.02 11.28	古枝小学校奥山分校閉校 平仁田儀助平で岩陰住居跡発見 ゴミ収集市全域に袋詰めステーション方式開始 中央児童公園完成
1973	昭和48年	03.28 12.29	市民体育館・横田運動広場完成 市の木「きんもくせい」市の花「さくら」を決定
1974	昭和49年	03.30	広域圏組合消防本部と鹿島消防署の庁舎完成
1975	昭和50年	04.01 07.16 07.31	鹿島・能古見・北鹿島の3中学校を統合し、鹿島市立西部中学校開校 祐徳運動広場完成 水道庁舎新築完成
1976	昭和51年	10~11月 11.08	若楠国体開催 皇太子殿下、美智子妃殿下御来鹿
1977	昭和52年	03.31	都市計画街路中牟田・御神松線一部開通
1978	昭和53年	01.31 03.01	音成の面浮立、国の無形民俗文化財に選定 鹿島勤労者体育センター(浜公民館)完成
1979	昭和54年	04.01 12.01 12.07	市民憲章制定 市役所新庁舎完成、移転 多良岳横断林道完成
1980	昭和55年	03.31 03. 04.11	市役所七浦出張所廃止 林業センターおよび民俗資料館完成 東部給食センター完成
1981	昭和56年	02.20 03.31 10.15	鹿島藩日記、県重要文化財に指定 本城、山浦、中川内分校閉校 国営多良岳開拓パイロット事業完成
1982	昭和57年	07.26~	長崎大水害の災害支援
1983	昭和58年	01.01 03.08	日本の自然百選に多良岳が選定 鹿島実業高校園芸科(浜校舎)閉校



1963年 第1回鹿島おどり



1968年 豪雪被害



1972年 平仁田儀助平で岩陰住居跡発見



1976年 皇太子殿下、美智子妃殿下御来鹿



1979年 音成の面浮立



1979年 市役所新庁舎完成、移転

1984	昭和59年	02.01	寝台特急さくら号肥前鹿島駅停車実現
		04.15	全国青年研究所「田澤記念館」完成
		05.11	七浦に海洋センター(プール、艇庫)完成
1985	昭和60年	03.30	七浦海浜スポーツ公園にガタスキーゾーンと七浦体育館完成
		04.06	「鹿島市民の歌」制定
		05.03	第1回鹿島ガタリンピック開催
1986	昭和61年	06.30	林業体育館完成
		11.30	学校給食センター完成
1987	昭和62年	04.15	七浦海浜スポーツ公園に干潟物産館完成
		11.20	七浦地区が豊かなむらづくりで農林水産大臣賞を受賞
1988	昭和63年	10.	ソウル・パラリンピックアーチェリー日本代表で鹿島市出身の吉田重利選手出場。銅メダル獲得
1989	昭和64年 平成元年	03.15	臥竜ヶ岡公園完成
		03.	鹿島市民武道館(旧三道会)完成
		04.01	鹿島市ごみ処理場廃止、杵藤クリーンセンター始動
1990	平成2年	06.29~07.03	7.8水害の時間雨量につぐ記録的集中豪雨
		09.01	北鹿島体育館完成
1991	平成3年	01.	年賀切手にのごみ人形の十二支土鈴「羊鈴」採用
		04.06	鹿島市立明倫小学校開校
		10.01	鹿島市干潟展望館「むつごろう」完成
1992	平成4年	11.22	第4回九州高校女子駅伝競走大会で鹿島実高が1時間8分13秒の高校最高記録で初優勝
1993	平成5年	03.21	花のトンネル完成
		10.01	のぐみふれあい学習館完成
1994	平成6年	04.26	道の駅鹿島登録(佐賀県内で第1号)
		10.01	鹿島市公共下水道供用開始
1995	平成7年	03.21	第1回海の森植樹祭開催
1996	平成8年	03.26	鹿島市陸上競技場完成
		06.11	自然の館「そよかぜ」開館
1997	平成9年	01.22	大韓民国全羅南道高興郡と友好結縁締結
1998	平成10年	08.01	スカイロード開通
		10.04	第1回かしま伝承芸能フェスティバル開催
1999	平成11年	03.16	平谷黒木トンネル開通
		04.01	北公園開設
2000	平成12年	02.07	大村市と「しあわせ街道交流宣言」締結
2001	平成13年	04.01	鹿島市生涯学習センター「エイブル」(市民図書館・保健センター)開館
		04.01	鹿島市民球場完成
2002	平成14年	03.21	全国初「鹿島市山の日」施行
		03.25	東アジア・オーストラリア地域シギ・チドリ類重要生息地ネットワーク加入
2003	平成15年	01.16	肥前浜宿「継場」開場
		05.29	鹿島市・太良町合併協議会を設置し、発会式および第1回協議会開催
		12.18	国道207号バイパス全線開通(暫定二車線)
2004	平成16年	06.05	鹿島市・太良町合併協定調印式開催
2005	平成17年	01.27	国道444号中木庭トンネル貫通
		03.11	鹿島市・太良町合併協議会解散
		10.02	蟻尾山公園にグラウンド・ゴルフ場完成



1984年 田澤記念館完成



1985年 第1回鹿島ガタリンピック



1991年 干潟展望館完成



1994年 道の駅鹿島登録



1995年 第1回海の森植樹祭



1996年 陸上競技場完成



1996年 自然の館「そよかぜ」開館



2001年 生涯学習センター開館

2006	平成18年	07.05	重要伝統的建造物群保存地区選定(国) (浜庄津町浜金屋町、浜中町八本木宿)
2007	平成19年	06. 12.16	中木庭ダム竣工 九州新幹線長崎ルート三者基本合意
2008	平成20年	08.14 09.11	北京オリンピックボクシング日本代表で鹿島市出身の川内将嗣選手出場 鈴木滋人氏が人間国宝に認定
2009	平成21年	05.10 07.20 11.12	有明海の干潟 日本の地質百選に認定 中木庭ダムやまびこ広場と溪流広場落成 天皇陛下御即位20年の祭典において、皇居前で母ヶ浦面浮立披露
2010	平成22年	07.09	新浜大橋完成
2011	平成23年	03.05 09.06	多良岳オレンジ海道が全線開通 「インターナショナル・ワイン・チャレンジ2011」で、富久千代酒造(有)「鍋島大吟醸」が「チャンピオン・サケ」受賞
2012	平成24年	02. 03.24/25 10.20	初のスポーツ合宿誘致 第1回鹿島酒蔵ツーリズム 千葉県香取市と「まちづくり連携に関する協定」締結
2013	平成25年	03.23 03.30	鹿島市日本酒で乾杯を推進する条例制定 鹿島市イメージキャラクター「かし丸くん」誕生
2014	平成26年	01. 04.30 10.23	年賀切手にのごみ人形「稲荷駒」採用 産業活性化施設「海道(みち)しるべ」開館 市民交流プラザ「かたらい」開館
2015	平成27年	05.29	「肥前鹿島干潟」がラムサール条約湿地に登録
2016	平成28年	03.29 04.23 06.01 09.14	九州新幹線(西九州ルート)の開業のあり方に係る合意 千葉県香取市と友好都市協定及び災害相互協定締結 鹿島警察署新庁舎完成 鹿島新世紀センター完成
2017	平成29年	11.20	鹿島市が地方自治の充実発展に尽力している自治体として総務大臣表彰受賞
2018	平成30年	03.24	肥前浜駅リニューアルオープン
2019	平成31年 令和元年	04.13 11.09	鹿島市干潟交流館「なな海」開館 天皇陛下御即位をお祝いする祭典で母ヶ浦面浮立披露
2020	令和2年	03.12 07.06~12 12.27	「鹿島酒蔵ツーリズム」がふるさとづくり大賞受賞 令和2年7月豪雨災害 国道207号鹿島バイパス 全線4車線開通
2021	令和3年	06.07	新型コロナウイルスワクチン集団接種開始
2022	令和4年	09.02 12.	「鹿島市ゼロカーボンシティ宣言」表明 環境省「グッドライフアワード」環境まちづくり賞受賞
2023	令和5年	02. 03. 05.22 09.10	国交省「グリーンインフラ大賞」受賞 内閣府「地方創生SDGs金融表彰」受賞 SDGs未来都市に選定 鹿島市民文化ホール「SAKURAS」開館
2024	令和6年	06.12 08.03 10. 10.06 11.23	脱炭素重点対策実施地域に選定 パリオリンピックサッカー男子日本代表で鹿島市出身の平河 悠選手出場 SAGA2024 国スポ・全障スポ開催 天皇皇后両陛下下行幸啓(肥前浜駅、HAMABAR) 市制施行70周年記念式典開催



2006年  
重要伝統的建造物群保存地区選定



2011年 オレンジ海道全線開通



2014年 稲荷駒 年賀切手



2015年  
肥前鹿島干潟ラムサール条約湿地に登録



2019年 干潟交流館開館



2020年 バイパス全線4車線開通



2023年 地方創生SDGs金融表彰



2023年 SAKURAS開館



## 市章

「かしま」の「か」を図案化したもの。円は融和と団結を意味し、頂点の尖りは永久の向上をあらわしているもので、発展と躍進を全体でまとめたものです。  
(昭和29年8月25日制定)



## 市の花 さくら

(昭和48年12月29日決定)



## 市の木 きんもくせい

(昭和48年12月29日決定)



## 鹿島市イメージキャラクター 「かし丸」くん

鹿島市の観光を丸ごとPRします。祐徳稲荷神社をイメージした「狐」と特産品の「みかん」を合体したかぶりものをかぶり、市の花「桜」と肥前浜宿酒蔵通りの「白壁土蔵」を表現した着物を着ています。「ガタリンピック」でつかう「ガタスキー」に乗った「むつごろう」のポシエットをつけています。

### 歴代市長

初代～3代	松浦 茂	昭和29年5月12日～昭和41年5月11日
4代～7代	矢野 正治	昭和41年5月12日～昭和57年5月11日
8代～9代	馬場 勝	昭和57年5月12日～平成 2年5月11日
10代～14代	桑原 允彦	平成 2年5月12日～平成22年5月11日
15代～17代	樋口 久俊	平成22年5月12日～令和 4年5月11日
18代	松尾 勝利	令和 4年5月12日～

#### 【表紙の写真】

最近の鹿島→1 瀧を踏もうぜプロジェクト/2 天皇后両陛下下行幸啓/  
3 赤ちゃん登校日/4 子育て支援センター/5 ロコモ予防教室/  
6 鹿島おどり/7 市民スポーツフェスタ  
昔の鹿島→8 鹿島町市街/9 祐徳への道/10 七浦尋常高等小学校の菖蒲園/  
11 鹿島村(現北鹿島)市街/12 能古見村/13 浜町市街

## 鹿島市 市勢要覧 2024 令和6年11月発行

編集・発行/鹿島市役所 政策総務部 広報企画課  
〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1  
TEL:0954-63-2101 FAX:0954-63-2129  
<https://www.city.saga-kashima.lg.jp>  
印刷/鹿島印刷株式会社

鹿島市制施行70周年をみんなで盛り上げ、発信したい!  
ガバメントクラウドファンディングで  
ご寄附いただいた方々 (敬称略)

一丸 愛佑美	岩永 信二
足立 判太郎	株式会社 ネット鹿島
納富 貴	株式会社 水城電気

(ほか、25名)

